

## 読書カード

名前・月齢 お子さんの名前と月齢  
絵本のタイトル \_\_\_\_\_  
作者 〇〇作、〇〇絵

設定

【問いかけ→答え】

お子さんに聞く問いかけと  
その答えをメモしておきます

<根拠>

答えの【根拠】を書きます

事件

正解のある問いかけと答えを書きます。  
根拠は必ず絵本の中から探します。  
絵からでも文（言葉）からでもOK！

オチ

お子さんの月齢や理解度、好みに合わせてください。  
大事なのは「根拠」を本の中から探して  
自分で答えることです。

主人公の気持ちの変化

<感想> この本のどこが好き？ / 嫌い？

正解のない問いかけを書きます。  
どんな問いかけでも構いません。  
本の内容について、お子さんの考えを聞くための問いかけです。  
大事なのは「理由」を自分の言葉で表現することです。

<理由> どうして？

どんな理由でも、お子さんの考えとして受け止めてあげましょう！  
お母さん、お父さんの感想やそう思った理由も  
話してあげてくださいね。  
ディスカッションの練習になっていきます。

# 記入例

ここに書いた問いかけは、例のひとつです。  
物語の内容や親子の普段の会話に合わせてアレンジしてくださいね  
**読書カード**

名前・月齢 _____	
絵本のタイトル これらの問いかけをして答えを聞いた後に、必ず	
作者 「なんでそう思った？」 「どこに書いてあった？」と 根拠を聞きましょう！	
設定 1. 季節はいつ？→秋 2. 主人公はだれ？→きつね 3. きつねくんはどんな気持ちだった？ →おふろを独り占めしたかった	<根拠> 1. 葉っぱが黄色とか赤だから 2. きつねが一番大きく描いてあるから 3. おふろの中でちょっと怖い顔をして 手でダメ！としているから
事件 1. 何が起きた？→きつねくんのぼせた！ 2. そのあとどうなった？→みんなが助けてくれた	1. 目がくるくるしてるから 2. うちわであおいであげてるから
オチ 1. きつねくんはどうした？→みんなでお風呂に入った 2. きつねくんはどんな気持ちになった？ →うれしくなった	1. みんなで入ってる絵があるから 2. ここにこ笑顔だから、 おふろで気持ちよさそうだから
主人公の気持ちの変化 最初はどんな気持ちだった？ 最後はどう思ってるかな？ →ダメダメ！という独り占めしたい気持ちから、 みんなでお風呂に入ろうという気持ちになった	気持ちが変化を読み取ることが物語文の要になります。 必ず気持ちの変化を確認する問いかけをしてくださいね！ 例1) 目が怒っていたのが、 優しい笑っている目になったから 例2) 最初は一人で入っていたけど 最後はみんなでお風呂を作ったから
<感想> この本のどこが好き？ / 嫌い？  一番好きなページはどこ？ 〇〇がきつねくんだったらどうする？ この時のうさぎさんはどんな気持ちだったかな？ など、感想を聞き出すヒントになるような問いかけをしてみましょう。 「どうだった？」と漠然と聞いても難しいので、答えやすいように具体的に聞くのがコツです。	
<理由> どうして？  感想を聞く問いかけをした後は、必ず「なんでそう思った？」と理由を聞きましょう。 ここで理由を説明できるようになると、自分の考えを伝える力がついてきます。 お母さんもぜひお母さんの考えや感想を伝えてあげてください。 その時、必ず理由も一緒に話してあげてください。 人にはいろんな考えがあり、その違いを楽しむ心を育てていきましょう！	

# 読書カード

名前・月齢

絵本のタイトル

作者

設定

<根拠>

事件

オチ

主人公の気持ちの変化

<感想> この本のどこが好き？ / 嫌い？

<理由> どうして？